

授業科目	E S 1 F 3 8		2 単位	必修	講義	1 年前期	担当教員	教授 松浦 信二						
	社会福祉													
授業の概要	① 少子・高齢化の状況、都市化と過疎化、家族・世帯の動向を学習し、保育や子育てをめぐる課題について理解する。 ② 社会福祉の概念や構造、体系を学習し、社会福祉の意味、定義、社会福祉の視点と役割、社会保険、公的扶助について理解する。 ③ 社会福祉を支える法制度について学習し、社会福祉六法、児童福祉、障害者や高齢者にかかわる法律について理解する。 ④ 社会福祉に関して学んだ知識を、保育現場で生かす方法として相談援助（ソーシャルワーク）について理解する。 ⑤ 権利擁護と苦情解決のしくみについて学習し、社会福祉と保育士の展望、保育士の社会的役割について理解する。													
到達目標						学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 社会福祉の概念、構造、社会福祉の歴史的発展過程について、イギリス、アメリカ、スウェーデン、日本の歴史について理解する。								◎					◎	
2. 社会保障制度の概念と体系、社会保険、公的扶助、社会福祉の制度と法体系について理解する。							○	◎		○	◎			
3. 社会福祉の実施機関、福祉の専門行政機関、福祉の計画、福祉の財源、社会福祉施設の概要について理解する。												◎	◎	
4. 子ども家庭支援、共生社会と障害者福祉、高齢者の福祉と介護保険、地域福祉の意味と推進方法、社会福祉の専門職と倫理について理解する。							○	○		○	◎	○	◎	
5. 相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法、権利擁護と苦情解決、社会福祉と保育士の展望、保育士の社会的役割について理解する。								○			○	○		
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照														
	主 題	準備学習			本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション 第1章「保育と社会福祉」	シラバスの確認をする。 教科書P16～P27を読み、第1章の概要を理解しておく。			少子・高齢社会の状況、都市化と過疎化、家族・世帯の動向、保育や子育てをめぐる課題、高齢者の介護をめぐる課題、貧困と格差をめぐる課題について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。					
2	第2章「社会福祉の考え方と役割」	教科書P28～P41を読み、第2章の概要を理解しておく。			社会福祉の概念や構造を学び、社会福祉の意味、定義、社会福祉の視点と役割、保育と社会福祉の関係を理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。					
3	第3章「社会福祉のあゆみ」	教科書P42～P55を読み、第3章の概要を理解しておく。			欧米と日本の福祉のあゆみについて学び、イギリス、アメリカ、スウェーデン、日本における社会福祉の歴史を理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。					
4	第4章「生活を守る社会保障制度」	教科書P56～P71を読み、第4章の概要を理解しておく。			社会福祉の概念と体系を学び、社会保険としての医療保険、年金保険、介護保険、労働保険、公的扶助としての生活保護について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。					
5	第5章「社会福祉の制度・法体系」	教科書P72～P83を読み、第5章の概要を理解しておく。			社会福祉を支える法制度の考え方と社会福祉に関する法律について学び、福祉六法、児童福祉にかかわる法律、障害者や高齢者にかかわる法律について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。					
6	第6章「社会福祉の実施機関と行財政」	教科書P84～P97を読み、第6章の概要を理解しておく。			社会福祉の行政機関、福祉の専門行政機関、福祉の民間専門機関と団体、社会福祉事業、福祉の計画や財源について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。					

7	第7章「社会福祉の施設」	教科書 P98～P105 を読み、第7章の概要を理解しておく。	社会福祉施設の目的と意義や概要を学び、社会福祉施設の種類、社会福祉施設の設備及び運営に関する基準、社会福祉施設の運営について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
8	第8章「子ども家庭支援と社会福祉」	教科書 P106～P121 を読み、第8章の概要を理解しておく。	子ども家庭支援、子どもの人権と子ども家庭福祉の理念について学び、児童福祉法の理念、子ども家庭支援の施策と動向について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
9	第9章「共生社会と障害者福祉」	教科書 P122～P133 を読み、第9章の概要を理解しておく。	わが国の障害者福祉の法体系について学び、障害者基本法、障害者総合支援法、障害者差別解消法、障害者雇用促進法について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
10	第10章「高齢者の福祉と介護保険」	教科書 P134～P145 を読み、第10章の概要を理解しておく。	高齢者保健福祉の法制度について学び、老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険制度の内容について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
11	第11章「地域福祉の意味と推進方法」	教科書 P146～P157 を読み、第11章の概要を理解しておく。	地域福祉の理念、意味、推進について学び、地域福祉の担い手、地域福祉の推進方法、地域福祉計画、共同募金について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
12	第12章「社会福祉の専門職と倫理」	教科書 P158～P175 を読み、第12章の概要を理解しておく。	社会福祉の専門職について学び、保育士の職務と義務、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、社会福祉専門職の倫理について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
13	第13章「相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法」	教科書 P176～P193 を読み、第13章の概要を理解しておく。	相談援助（ソーシャルワーク）の意味・原則について学び、ストレングス、エンパワメント、アドボカシー、相談援助（ソーシャルワーク）の種類と展開過程について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
14	第14章「福祉サービスの利用支援と第三者評価」	教科書 P194～P205 を読み、第14章の概要を理解しておく。	福祉サービスの適切な利用支援について学び、福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）、第三者評価について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
15	第15章「権利擁護と苦情解決」第16章「社会福祉と保育士のこれからはを考える」	教科書 P206～P221 を読み、第15章の概要を理解しておく。	権利擁護について学び、利用者保護のしくみとして成年後見制度、児童虐待防止法、高齢者・障害者の虐待防止法、保育士の社会的役割について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
成績評価	授業への取り組み (20%) 課題等の提出 (20%) 期末試験 (60%) 合計 100%			
教員からのコメント	社会福祉の理念や法制度を学ぶことによって、専門的な知識をもち、専門的なスキルを身に付けることによって、実際に社会生活上の課題を抱えている人に対して、課題解決に向けてのアプローチが実践できる保育士になってもらいたい。そのためには、社会福祉の概念と体系を学習し、社会保険としての医療保険、年金保険、介護保険、労働保険、公的扶助としての生活保護制度について理解してもらいたい。また、専門的知識や専門的技術の基盤にあるのは、子どもの人権の保護、子どもの利益の最優先といった倫理観や価値観であることを理解してもらいたい。			
教科書	書名 「保育と社会福祉」 著者 橋本好市・宮田徹 発行所 株式会社 みらい	推薦図書	書名 「社会福祉」 著者 松原康雄 発行所 中央法規出版株式会社	